

金剛院 イベントNEWS

●企画・発行/金剛院
●制作/クリプロ

～葬儀について勉強してみよう 「家族葬ってなあに？」～

厚生省認定葬祭ディレクターをお招きして「葬儀」について考える会が開かれました。



●講師の酒井久尚さんは「厚生労働省認定・葬祭ディレクター1級」というライセンスをもつ、お葬式のベテランです。

●住職からは「情報に振り回されず、お見送りのあり方について、皆さんご自身でよく考えておきましょう」というお話がありました。



●金剛院で開かれる葬儀に関するセミナーは今回で2回目。いずれも満席で「お葬式」に対する皆さんの関心の高さがよくわかります。



いつかやってくる「その日」に備えて

今や日本人の8割は病院で亡くなり、葬儀は斎場で行われるのが普通になりました。かつてのように地域のお手伝いによって自宅でお葬式をすることはほとんどありません。そのため「お葬式」についての準備がほとんどないまま「その日」を迎えてしまうことが少なくありません。まず、セミナーでは臨終から、葬儀、法事までの流れと、最近増えている「家族葬」「市民葬・区民葬」、通夜や告別式を行わずに火葬する「直葬」や「1日葬」とは何かについてのお話がありました。



気になる費用の内訳について具体的に

さらに気になる葬儀費用についても、その内訳や葬儀の形によって、どう費用が変わってくるかなどが、具体的な数値を使って分かりやすく解説されました。



「お布施」「戒名」の基礎知識

次に金剛院職員の鈴木さんから「お布施」と「戒名」についての基礎知識がレクチャーされました。



故人

●20年以上の経験をもつ酒井さんのお話は、具体的に分かりやすいものでした。参加された方からも「自分や実家の両親の葬儀を考えるヒントになった」と好評でした。

「葬儀の形はいろいろありますが、大切なのは故人の遺志と家族の意向ではないでしょうか。」と酒井さんは講演をしめくりました。

●「イザという時の準備とポイント」「葬儀費用の内訳」生前につけておきたい「ご葬儀カルテ」など参考になる資料も配られました。



★お葬式の形は100人の人がいたら100通りあると思います。お葬式は人生最後の大事なお見送りの儀式。遺族にとってはその後の故人、さらにはご先祖様との関わり方がお葬式によって大きく変わるといえます。こうしたセミナーが、より良い葬儀のあり方を考えるきっかけになってくれれば嬉しいですね。(住職・記)